

日 時 平成 27 年 6 月 11 日(木) 16:00 - 17:30 場 所 広島大学大学院教育学研究科 第一会議室

## 【講演内容】

「19世紀の方法を用い20世紀の話題について21世紀を生きる子どもたちに教えること」が抱える問題を中心に、中央集権化した教育の機能不全、小学校における事例、数学と音楽教育、人間中心アプローチ(PCA)を取り上げながらハンガリーにおける教育の成果と課題についてお話しいただきます。同時に、数学的構造を学習する際の様々なゲームについて、いくつかのイラストを用いながら紹介します。

【講演者紹介】Dr. Sandor Klein (サンダー・クライン博士)

ハンガリーの心理学者であり、専門は心理学・数学。現在はペーチ大学(University of Pécs)生涯教育・人材育成学部名誉教授として活躍している。国際教育課程・教育方法学会(WCCI)創設時のメンバーである。代表的な著書に The effects of modern mathematics (2002年)などがある。

参加費無料

■申込み方法■(当日参加もできます)

右の URL もしくは QR コードからお申し込みください。 https://goo.gl/BXCu9N





広島大学

問い合わせ先:広島大学大学院教育学研究科学習開発学講座

教授 鈴木 由美子 (pesfre@hiroshima-u.ac.jp 内線 7187) 特任助教 中井 悠加 (yknakai5615@hiroshima-u.ac.jp 内線 7184)